

赤野井湾流域における課題（事前に事務局に頂いたもの）

委員	課題	考えられる取組	事務局要約
認定NPO法人びわこ豊穰の郷 金崎委員	毎月1回、赤野井第3南公園と第2公園の湖岸でオオバナミズキンバイ、ナガエツルノゲイトウのウォッチャー活動を行っています。湖辺ではアカメヤナギ等の倒木や、折れたままの状態が見受けられます。次世代に向け、産卵場所である赤野井湾を継続して守って行かなければならないと思います。	赤野井湾湖辺の倒木等を調査し、新しく苗木を植栽できるように、多くの環境や条件を考え、行政や団体等と協力して、苗木の植栽活動を行う。これからの先を考え、ホンモロコヤニゴロブナの産卵場所の継続した確保のため、活動を進めたいと思います。	外来植物や放置されたヤナギ類の保全再生
守山市消費生活学習会 岸委員	赤野井湾の流域で生活する若い世代が水の大切さをもっと意識していく必要がある。	琵琶湖の水の大切さと水を汚さないことの重要性について、小中学校の家庭科の授業等を通すなどして、全域の自治体の教育部局にも啓発を徹底して行っていただきたい。	水の重要性に対する機運醸成
滋賀びわ湖漁業協同組合 玉津小津支所 田中委員	外来魚やゴミを引き上げる作業の中で、置く場所がないなど、困ることがある。組織を作って対応しているが、例えば、テレビ等のイレギュラーなものを引き上げた時などに困る。	① 従来の取組を実施することに環境が維持されるため、確実に実施すること。 ② 日常の作業の中で環境を常に意識する。 ③ 処理を行う体制を組織として構築しておく。	ゴミ処理後の置き場所等に困る
(公社) 守山青年会議所 星野委員	ゴミの問題	現在協議中	ゴミ問題

(参考) 昨年度会議で挙げられた課題

項目	内容
ごみ	ポイ捨ては上流の他市町を巻き込んで県全体で啓発等実施する必要あり、不法投棄はまだまだ減らない
スクミリングガイ	循環かんがい施設停止地域の限定
シジミ	湖底環境の改善が必要
水質	透明度は上がったが、他は横ばい